

平成 29 年度第 1 回学校関係者評価委員会兼信頼される学校作りのための委員会について(報告)

日 時 平成 29 年 6 月 21 日 (水) 14:50 ~ 16:30

会 場 総合学館 2 階 C24 教室

参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4 部主任・学年主任・学校評価係

質疑・意見交換の主な内容(まとめ)

1 進路について

- ・(質疑) 中学生のうちから身につけておいた方が良いことは何か。
(回答) 基礎的な学力及び基本的な生活習慣を、中学生のうちに身につけておくことが大切である。勉強の得意、不得意ではなく、「勉強をしようとする姿勢」を身につけておいて欲しい。
- ・(質疑) 高校に入学する時点ではっきりとした目的意識を持った生徒は多いのか。
(回答) 入学時点で明確な目的を持っているというよりは、1 年次の学びを通して進路を決めていく生徒が多い。特に 1 年生は、「産業社会と人間」の授業において、進路や就職について学ばせることにより、早い段階で自分の進路に関して考える機会を持たせることに努めている。

2 自宅学習について

- ・(質疑) 自宅学習と宿題の違いは何か。自宅学習をどのように促進しているか。
(回答) 授業や考査に向けて自ら行うものが自宅学習であり、目標があれば自宅学習へのモチベーションも上がると思う。何のための勉強するのかという目標を持たせることに努めたい。
- ・(質疑) 放課後の利用は怎么样了のか。
(回答) 3 年生は放課後の時間を利用して、センター対策、検定対策、小論文対策、公務員対策や、放課後補習を行っている。1, 2 年生は部活動があるので、苦手教科を中心に週 2 日程度、空き教室を利用しての個別指導を検討している。

3 保健室利用について

- ・(意見) 保健室利用のルールを決め徹底することで、安易に授業を休もうという保健室利用者が半減したことは良かった。